

道徳はこんな内容です

道徳教育は

- ・人間が本来もっている「よりよく生きたい」という願いや「よりよい生き方を求め実践する人間」の育成を目指し、その基盤となる道徳性を養う教育活動です。
- ・小学校では、人間としてよりよく生きるために共通の心構えや行動の仕方を様々な体験や学習を通して学びます。基本的な生活習慣やルール・モラルの指導をしたり自然体験活動やボランティア活動などの体験活動をしたりして道徳性の育成を図っていきます。

6年生はこんな学習をします

1 自分自身に関すること

- ・生活を振り返り、節度を守り節制に心がける。
- ・より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。
- ・自由を大切にし、規律ある行動をする。
- ・誠実に明るく楽しく生活する。
- ・真理を大切にし、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくする。
- ・自分の特徴を知って、悪いところを改めよいところを積極的に伸ばす。

2 他の人とかかわりに関すること

- ・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。
- ・誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場にたって親切にする。
- ・互いに信頼し、学びあって友情を深め、男女仲良く協力し助け合う。
- ・謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にする。
- ・日々の生活が人々の支えあいや助け合いで成り立っていることに感謝しそれにこたえる。

3 自然や崇高なものとかかわりに関すること

- ・自然の偉大さを知り、自然環境を大切にする。
- ・生命がかけがえのないものであることを知り自他の生命を尊重する。
- ・美しいものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ。

4 集団や社会とかかわりに関するもの

- ・身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。
- ・公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にしながら進んで義務を果たす。
- ・誰に対しても差別することや偏見を持つことなく公正、公平にし、正義の実現に努める。
- ・働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知り公共のために役立つことをする。
- ・父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて進んで役に立つことをする。
- ・先生や学校の人々への敬愛を深め、みんなで協力し合いよりよい校風をつくる。
- ・郷土や我が国の文化と伝統を大切に、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。
- ・外国の人々や文化を大切にする心を持ち、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努める。

道徳教育の評価について

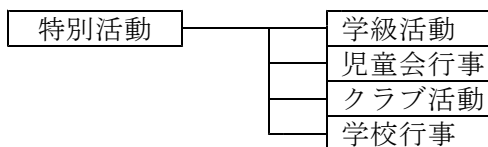
- ・道徳教育においては、児童の人間的な成長を見守り、よりよく生きようとする努力を認め、勇気付けるために、観察、質問紙、作文などを利用して道徳性の共感的理解に努め、その結果を指導に生かすようにしています。
- ・道徳の時間に関しては、数値などによる評価は行いません。

特別活動はどのような学習なのでしょう

特別活動の目標

望ましい集団活動をとおして、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

特別活動には、次のような活動があります



学級活動はどのような活動なのでしょう

学級活動はこのようなねらいで活動します

学級を単位として、学級や学校の生活の充実と向上を図り、健全な生活態度の育成に資する活動です。

◎ 集団の一員としての自覚を育てる

係活動や話し合い活動の役割分担、決まったことを実践する過程での役割分担などを遂行する中で、学級の一員としての自覚を高めるとともに、自分らしさを発揮できるようにする。

◎ 豊かな人間性や社会性を育てる

人とのかかわりのなかで相手を思いやる心を持ち、役割を自覚し、責任をもって行動できる。

◎ 好ましい人間関係を築く

多様な集団活動を通して、互いを認め合う関係を築く。

◎ 協力してよりよい生活を築こうとする自主的実践的な態度を育てる

諸問題を一人一人が意識し、知恵を出し合っってよりよい結論を見出そうとする自主的、実践的な態度を育てる。

◎ モラルやルールを身につける

集団活動を通して、社会生活を営む上での基本的なモラルや社会生活上のルールを身につける。

◎ 防犯・安全に対する意識を高める

防犯教室や安全教室等を通して、防犯・安全に対する意識を高める。

特別活動の評価

・特別活動の時間に関しては、数値などによる評価は行いません。